

自らのうちにある『生きようとする力』



私が、ホームホスピスの取り組みの中で、学んだことを今回共有します。

ホームホスピスでは、「生きようとする力（スピリチュアリティ）」を引き出すことを大切にしています。そのために、一人ひとりに合わせたケアを行い、自宅に近い環境を整え、「生活の場」として共に暮らすことを重視しています。

そして、そこにいることを認められ、他者に必要とされることで、自らの存在を肯定的に受け止めることができた時に初めて、「生きようとする力」が発揮され、穏やかな人生の最終段階を迎えることができると考えられています。

余命を宣告された方も、穏やかに、そして笑顔で長く過ごされるケースが多く見られます。これは、人の命は医学だけでは測れないということを示唆しています。

「食べること」は「生きる力」

7月12日のホームホスピスの講演会に参加された南万々のいとう歯科の伊藤充孝先生から、ホームホスピスの取り組みに賛同し、協力したいという温かいメッセージをいただきました。伊藤先生とは、以前、先生のおばあさまの訪問看護にいかせて頂いた関係で、今もご縁が繋がっています。（伊藤先生のごことは3年ほど前に給与メッセージに書いたことがあります）

伊藤先生は「摂食嚥下」への強い情熱をお持ちで、「口から食べることを最優先する」というお考えです。これは「食べることで生きる力が引き出される」というホームホスピスの考えと共通しています。

口腔ケアは、食べるための必須条件

ホームホスピスでは、最期まで口から食べることを支えるため、以下の2つの取り組みを行っています。

○水分・栄養補給とソフト食の導入

胃ろうや経管栄養から離脱して、口から食べるリハビリにも力を入れています。

○徹底した口腔ケア

食前・食後の口腔ケアを徹底することで、誤嚥性肺炎を減らし、居室のにおいも軽減されます。これは、ホームホスピスで非常に徹底されています。

てのひらでも、利用者様の口腔ケアを重視し、食を楽しめて、笑顔で「生きる力」を高めていけるよう、みなさんと共に力を合わせて、やっていきたいと考えています。

猛暑の中、一生懸命な汗を流しながら頑張ってくださっているスタッフに感謝いたします。

2025年8月8日

呉 静恵

